

くるべ古代歴史館 オープン

くるべ かんがいせき
久留倍官衙遺跡公園

一般公開

平成30年 3月25日 日 15:00

くるべ古代歴史館 三重県四日市市大矢知町2323-1

式典

14:00

オープニングセレモニー
テープカット

15:00 一般公開 古代歴史館展示解説



開館記念展

「壬申の乱ゆかりの地～吉野・宮滝～」

平成30年3月25日(日)～5月13日(日)

くるべ古代歴史館内 企画コーナー

展示品：奈良県宮滝遺跡出土遺物など



開館記念 講演会

「歴史と歌と一久留倍の里から」

平成30年4月21日(土) 13:00～

場所：あさけプラザ

講師：上野 誠 (奈良大学教授)

問
合

四日市市教育委員会事務局 社会教育課 くるべ古代歴史館(3月25日～)

TEL: 059-354-8240 059-365-2277

くるべ古代歴史館のご案内

開館時間：午前9時～午後5時

休館日：月曜日・火曜日（休日の場合は翌日）・年末年始（12/29～1/3）臨時休館あり

入館料：無料

交通案内

鉄 道：三岐鉄道大矢知駅より徒歩約15分

近鉄富田駅より徒歩約25分

自動車：東名阪自動車道四日市東ICより約5分

一般国道1号北勢バイパス上り線からは、斎宮西交差点を過ぎてすぐ側道に入り約2分（久留倍遺跡北交差点を過ぎてUターン）・下り線からは川北三丁目交差点より側道に入り約3分

駐車場：無料（バス3台、乗用車20台）

住所：〒510-8034

四日市市大矢知町2323-1

電話：059-365-2277

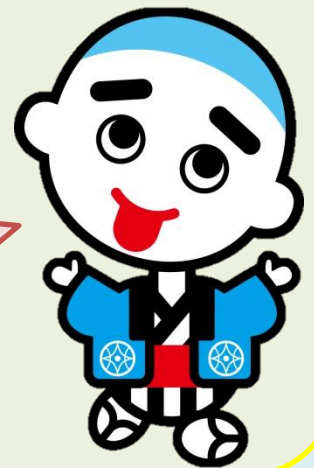
Fax：059-365-2288

ホームページ：[くるべかんがいせき](#)

検索



みなさんのご
来場をお待ち
しています。



平成29年度 久留倍遺跡まつり

久留倍官衙遺跡シンポジウム

古代史の口マン 謎の『久留倍官衙遺跡』

～壬申の乱・聖武天皇の東国行幸に関連して～

【第1部：基調講演】

「久留倍官衙遺跡の概要と整備計画」

四日市市教育委員会 学芸員 石毛彩子

「久留倍官衙遺跡と古代の地方官衙」

東京大学大学院教授 佐藤 信

「天平十二年の聖武天皇行幸」

奈良大学名誉教授 日本学士院会員 東野治之

「聖武天皇の伊勢行幸と万葉集・志摩国荷札木簡」

大阪大学大学院准教授 市 大樹

「久留倍官衙遺跡とその展開」

四日市市教育委員会 学芸員 堀越光信



YOKKAICHI
四日市市制120周年

【第2部：パネルディスカッション】

コーディネーター

佐藤 信

パネリスト

東野治之 市 大樹 石毛彩子 堀越光信

平成29年11月3日(金・祝)

9時30分開場 10時開演

(15時30分終了予定)



古代衣装展示

場 所：四日市市文化会館 第2ホール

主 催：久留倍遺跡まつり実行委員会

入 場：無料 事前申し込み不要

後 援：三重県、三重県教育委員会、四日市市、四日市市教育委員会、四日市市商工会議所

四日市市観光協会、NHK津放送局、三重テレビ放送、(株)シー・ティー・ワイ、中日新聞社

朝日新聞社、読売新聞社、毎日新聞社、伊勢新聞社、三重エフエム放送、四日市市

文化まちづくり財団・大矢知地区連合自治会、大矢知地区社会福祉協議会

問い合わせ：四日市市教育委員会社会教育課 TEL.059-354-8238

久留倍官衙遺跡

一般国道1号北勢バイパスの工事のための発掘調査で7世紀後半から平安時代におよぶ朝明郡の役所跡がみつかりました。それらは、堀で囲まれた郡衙政庁を中心とする建物群→東西に長い大規模な建物を中心とする建物群→床を持つ構造の倉庫(正倉)を中心とし、それらの周りに区画溝をめぐらせる正倉院というように大きく分けて3度の変遷をたどることがわかりました。

また、壬申の乱(672年)のときに、大海人皇子(のちの天武天皇)が朝明郡に立ち寄っていることや、聖武天皇の東国行幸(740年)のときに朝明郡で2泊していることが『日本書紀』や『続日本紀』、『万葉集』といった古典に書かれています。これらのことと久留倍官衙遺跡との関係が重要と考えられ、平成18年に国の史跡に指定されました。

出演者 プロフィール (登壇順)



石毛彩子

四日市市教育委員会社会教育課 学芸員 大阪府出身

共著:『古代の稲倉と村落・郷里の支配』(国立文化財機構 奈良文化財研究所、1998年)

『古代豪族居宅の構造と機能』(同前、2007年)、『久留倍遺跡の正倉院』(『日本古代の王権と社会』塙書房、2010年)



佐藤 信

東京大学大学院教授 東京都出身

主著:『日本古代の宮都と木簡』(吉川弘文館、1997年)、『古代の遺跡と文字資料』(名著刊行会、1999年)、『出土史料の古代史』(東京大学出版会、2002年)、『古代の地方官衙と社会』(山川出版社、2007年) (山川出版社 日本史リブレット)



東野治之

奈良大学名誉教授 日本学士院会員 兵庫県出身

2010年秋 紫綬褒章受章

主著:『正倉院文書と木簡の研究』(塙書房、1977年)、『遣唐使と正倉院』(岩波書店、1992年)、『長屋王木簡の研究』(塙書房、1996年)、『遣唐使』(岩波書店、2007年)、『聖徳太子 ほんとうの姿を求めて』(岩波ジュニア新書、2017年)



市 大樹

大阪大学大学院准教授 愛知県出身

主著:『飛鳥藤原木簡の研究』(塙書房、2010年)、『すべての道は平城京へー古代国家の〈支配の道〉ー』(吉川弘文館、2011年)、『飛鳥の木簡ー古代史の新たな解明』(中公新書、2012年)、『日本古代都鄙間交通の研究』(塙書房、2017年)



堀越光信

四日市市教育委員会社旗教育課 学芸員

皇學館大学研究開発推進センター共同研究員 東京都出身

共著:『日本の神々』(新潮社、1998年)、『中世の寺社と信仰』(吉川弘文館、2001年)、『国史大系書目解題』(吉川弘文館、2001年)、『神像の美』(別冊太陽、平凡社2004年)、『日本の神々』(東京美術、2005年)

シンポジウム進行予定 9:30開場 10:00開演(15:30終了予定)

【第1部】

- 10:00 教育長 葛西 文雄 挨拶
- 10:05 久留倍官衙遺跡映像上映
- 10:20 「久留倍官衙遺跡の概要と整備計画」 石毛彩子
- 10:40 「久留倍官衙遺跡と古代の地方官衙」 佐藤 信
- 11:20 「天平十二年の聖武天皇行幸」 東野治之
- 12:00 ~ 13:00 〈休憩〉
- 13:00 「聖武天皇の伊勢行幸と万葉集・志摩国荷札木簡」 市 大樹
- 13:40 「久留倍官衙遺跡とその展開」 堀越光信
- 14:20 ~ 14:30 〈休憩〉

【第2部】

- 14:30 ~ パネルディスカッション
- コーディネーター:佐藤 信
- パネリスト:石毛彩子 東野治之 市 大樹 堀越光信

飛鳥～奈良時代の重要遺跡と斎宮の関係は？
研究者が現地で徹底トーク

シンポジウム

斎宮跡と久留倍官衙遺跡



さいくう平安の杜（明和町斎宮跡）

壬申の乱と斎宮

斎宮跡・久留倍官衙遺跡連携協定関連事業

平成29年11月25日(土) 13:20～16:30

記念講演会「伊勢と万葉～壬申の乱と聖武天皇行幸」 三重大学名誉教授 廣岡義隆氏

報告1 「初期斎宮の調査成果」

斎宮歴史博物館 大川勝宏

報告2 「斎宮跡の整備と日本遺産」

明和町斎宮跡・文化観光課 中野敦夫

報告3 「久留倍官衙遺跡の意義とその整備」

四日市市教育委員会社会教育課 葛山拓也

シンポジウム 「斎宮と伊勢の万葉時代」

司会／斎宮歴史博物館 榎村寛之

当日先着
100名様

会場
四日市市立博物館 講座室(三重県四日市市安島1丁目3-16)

お問い合わせ先
四日市市教育委員会社会教育課 TEL.059-354-8238

斎宮と壬申の乱

斎宮跡・久留倍官衙遺跡連携協定関連事業

平成30年2月3日(土) 13:20～16:30

記念講演会「万葉集と壬申の乱」 奈良大学教授 上野誠氏

報告1 「斎宮前夜の明和町」

明和町斎宮跡・文化観光課 乾哲也

報告2 「初期斎宮の調査成果」

斎宮歴史博物館 大川勝宏

報告3 「壬申の乱と久留倍官衙遺跡」

四日市市教育委員会社会教育課 堀越光信

シンポジウム 「斎宮跡と久留倍遺跡と壬申の乱」

司会／斎宮歴史博物館 榎村寛之

当日先着
100名様

会場
さいくう平安の杜 西脇殿(三重県多気郡明和町大字斎宮2800)

お問い合わせ先
明和町斎宮跡・文化観光課 TEL.0596-52-7126

主催／斎宮歴史博物館・明和町・四日市市